



奈良育英高等学校

生徒会とユネスコ委員会

環境問題は深い

生徒会がユネスコ委員会の取り組みを取材しホームページに掲載。現在、環境に関する問題は山積しており、世界規模での協力が必要となっています。問題解決に必要なのは、問題に関して知ろうとする意思と行動力です。服などはフェアトレードのものをなるべく選ぶ、洗剤を無駄に使用しすぎないなど、日常生活からなにか環境に貢献できる行動を起こしていくことです。



奈良学園高等学校

奈良学園SS研究チーム

サギソウの生活史から考える保護

学校林には多くの希少動植物が生息しており、特に希少な植物である「サギソウ」に注目しました。サギソウは現在、環境省レッドデータブック準絶滅危惧種に登録されており、本校でも個体数が大幅に減少しています。私たちは「サギソウの生活史を解明し、保護につなげる」ことを目標に活動を行いました。他の植物の保全に活用できる点も多いと考えています。



中 国

9 団 体

岡山学芸館高等学校 医進サイエンスコース

#Ryu_Gu_

『里海の聖地』におけるアマモ場再生活動および干潟保全・回復活動

「里海の聖地」と呼ばれる備前市日生町で、アマモ場再生活動・ベントス調査・課題研究を行っています。アマモの流れ藻回収や種子選別、種まき、アマモの苗である実生ポットの生育に取り組みました。他にも、牡蠣殻を農業に利用する研究、海洋ゴミを自動回収する装置の開発、アマモを用いた藻塩づくりの実践など、SDGsを意識した環境活動に取り組んでいます。



岡山商科大学附属高等学校

工業技術同好会

#海が見たい!!

市販の水中ドローンと本校で制作したDIY MARINE ROBOTを用いて玉野市宇野港湾周辺から調査・実験を実施しました。美しい波間と違い、海中はアマモ場や稚魚も少なく期待していたものとは違うものでした。水中ドローン調査で、アマモ場が無くて稚魚達が岩陰でコケを食べている様子を撮影。海洋マイクロプラスチックに代表される汚染物を食べているのかどうかの調査も行いました。



岡山県立邑久高等学校

科学同好会・有志

ジャンボタニシによる稲苗の食害軽減と肥料化に向けて

スクミリンゴガイの捕獲を実施し昨年比で稲苗の食害をある程度軽減できた。しかし、捕獲のタイミング等、課題も見えてきた。捕獲した貝の有効利用法についても検討し、肥料にできないか取り組んでみた。スクミリンゴガイをペースト状にして畑の土に混ぜ、ハツカダイコンの種子をまいたところ数倍大きく成長することがわかり、肥料化が可能なが示唆された。



岡山県立玉野高等学校

チーム小麦2020-2021

パン用小麦ゆめちからからの減窒素栽培の確立

パン用小麦「ゆめちから」の自給率の向上を目標に掲げ、岡山県で稲の裏作としての栽培スケジュールを確立し、生産性の向上を図る研究を行っています。過剰な肥料投与による海や山の汚染を防ぎ、肥料中の窒素量を減らしても、品質の良い小麦を収穫可能となる栽培方法を確立し、「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさも守ろう」が実現することも目指しています。



岡山県立倉敷天城高等学校

プラズマ・モデルロケット研究班

プラスチックストローで宇宙をめざそう!

廃棄プラスチックストローを固体燃料として利用したハイブリッドロケットの研究開発を行いました。酸素ガスをペットボトルの中に充填。その下に取り付けたアルミニウム缶の内側に不良品のプラスチック製ストローを固体燃料として詰め込みました。結果、100%打ち上げ可能な推進に成功。ハイブリッドロケットを実際に打ち上げて、安全性や到達高度を確認しました。



山陽学園中学校・高等学校

地歴部

瀬戸内海の海洋ごみ問題の解決へ向けて～問題の「自分事」化プロジェクト～

瀬戸内海の海洋ごみ問題の解決へ、海底ごみや島嶼部の海岸漂着ごみの回収活動、出前講座などの意識と行動の変化を促せる啓発活動に取り組んでいます。①経済と環境の交差点である商業施設での訴え掛けにより、日常生活から促す。②河川から海へつながる地域の用水路のごみ調査「地域から促す」試み。用水路マップは地域の清掃活動で利用されています。



出雲西高等学校

インターアクトクラブ

出雲西高発!! 水環境改善プロジェクト

出雲の水環境保全活動を中心に活動している。①日本海岸清掃を年間5回、43年間続けている。②韓国の高校生と国際交流し、ごみの問題を討論している。③神戸川の清掃、水質、生物調査。サケの孵化に挑戦し放流を行った。④宍道湖の浄化活動のため、ヨシを植え、冬にはヨシ刈りも行った。⑤出雲の森の植林、間伐、枝打ちなどを行い、森林の再生を試みた。

